

製品安全データシート

製造者情報

会社名：第一大宮株式会社
住所：大阪府摂津市南別府町16-16
担当部門：樹脂事業部
電話番号：06-6340-0909
FAX番号：06-6340-0006

作成 平成16年6月15日

改定 平成27年10月1日

整理番号 SI-001

製品名（化学名、商品名等）：養生くん PE

物質の特定

単一製品・混合物の区別：混合物
化学名：ポリエチレン、添加剤、他の混合物
成分及び含有量：ポリエチレン 約97%
化学式または構造式： $-(CH_2-CH_2)_n-$
官報公示整理番号：6-1（化審法・安衛法）
CAS番号：9002-88-4

危険有害性の分類 最重要危険有害性及び影響

人体の健康に対する有害な影響：なし
環境への影響：知見なし
物理的及び化学的危険性：なし
特定の危険有害性：なし

応急措置 粉が目に入った場合：直ちに多量の水で15分以上洗眼する。
洗眼中、眼瞼は十分開いてあらゆる部位まで水がいきわたるようにし、決して目をこすってはならない。
目に異物感があれば直ちに医師の手当てをうける。

皮膚に付着した場合：水で十分に洗い流す。
高温の熔融樹脂が付着した場合には衣服の上から大量の水をかけ、十分に冷却し、医師の判断を仰ぐ。皮膚上に固まった樹脂は無理に剥がさない。

飲み込んだ場合：危険な物質ではないが、大量の水を飲ませ、指を差し込んで吐かせる。

		異常を感じたり、患者に意識が無い場合には、直ちに医師の手当てを受ける。
吸入した場合		: 加工時の加熱・摩擦熱による発生ガス等をひどく吸入したときは、直ちに患者を毛布等で包んで安静にさせ、新鮮な空気の所に移し、直ちに医師の手当てを受ける。
火災時の措置	消火方法	: 一般火災と同じ消火方法を用いて差し支えない。
	消火剤	: 水、泡消火剤（エアフォーム）、粉末消火剤等を用いることが出来るが、水は冷却効果が大きいので水を使用することが望ましい。
漏出時の措置	人体に対する注意事項	: シート片、切り粉は床面に残ると滑る危険性が高いので、こまめに処理する。作業の際は適切な保護具を着用し、粉塵等を吸入しないようにする。 付近の着火源となる物を取り除く。
	環境に対する注意事項	: シート片、切り粉が河川などに漏出した場合は、魚類、鳥類等への悪影響が有りうるため全て回収する。
	除去方法	: 切断加工時にシート片、切り粉等が床面にこぼれた場合は、粉塵が飛散しないよう静かに清掃し空容器や袋等に詰めて一般的な産業廃棄物と同様の扱いとする。
取扱いおよび保管上の注意	取り扱い	: 加工時に発生したガスや粉塵は、呼吸器・皮膚を刺激することがあるので、手袋・保護眼鏡・防毒マスクまたは防塵マスクを着用する。多量に吸引した場合は個人によっては、吐き気・頭痛等を起こすことがあるので吸引しないようにする。 静電気災害を防止する対策をとる。
	保管	: 雨・風・日光に晒されない屋内で、常温で保管する。 急激な温度変化がない乾燥した場所で、熱源・発火源から離れた場所に保管する。 保管場所では、みだりに火気を使用しない。
物理／化学的	形状	: 個体・シート
	性質 融点	: 100～137℃以上
	見かけ比重	: 0.6
	溶解性	: 水に不溶
暴露防止および保護措置	管理濃度	: 未設定
	許容濃度	: 未設定
		日本産業衛生学会とACGIHとともに、ポリエチレンの粉塵に

関する許容濃度を定めていないが、次の値を採用するのが妥当と考えられている。

ACGIH（米国産業衛生専門会議）勧告値／1998年

一般粉塵（PNOC）としての許容濃度（TWA）

Inhalable Particulate 10 mg/m³

Respirable Particulate 3 mg/m³

日本産業衛生学会／1998年

第3種粉塵としての許容濃度

総粉塵 8 mg/m³

吸入性粉塵 2 mg/m³

設備対策 : 粉塵を発生する切断や研磨等の作業を行う場合は必要に応じて粉塵マスクをし、作業場には局所排気装置を設置するのが望ましい。

保護具 呼吸器の保護具 : 防塵マスク(国家検定品；取り替え式・使い切り式)
直結式防毒マスク

手の保護具 : 皮手袋等

目の保護具 : 保護眼鏡（ゴーグルタイプ）

皮膚および : 長袖（手首の締まったゆったりした上着）、足首の

身体の保護具 締まった長ズボン

危険性情報 可燃性 : 有り（消防法指定可燃物）

発火性 自然発火性 : 自然発火温度 400℃（平均粒径； 24 μm）
440℃（平均粒径；106 μm）
(引用文献 1)

水との反応性 : なし

酸化性 : なし

安定性・反応性 : 一般的な貯蔵・取り扱いにおいて安定である。

自己反応性・爆発性 : なし

粉塵爆発性 : 粉塵は爆発性混合気を生成する場合がある。(引用文献 1)
爆発下限界濃度；15 g/m³ 400℃（平均粒径；24 μm）
30 g/m³ 400℃（平均粒径；106 μm）

有害性情報 皮膚腐食性 : 知見なし

刺激性 : 皮膚や目に対し、物理的な刺激がある

感作性 : 知見なし

急性毒性 : ポリエチレンの生体に対する影響を見ると、ラットの経口投与によるLD50算定が試みられたが、7.95 g/kg以上の投与は実験操作上困難であり、またこの投与量ではなんら毒性の兆候は

見られず、体重増加も正常であり、組織病理学的検査でも異常は認められない。(引用文献 2)

がん原生 : IARCの発がん性区分でグループに3 (ヒトに対する発がん性について分類できない) に分類されている。(引用文献 3, 4)

環境影響情報 データは知られていないが、鳥類、魚類等が摂取する可能性が有りうるため、いかなる海洋や水域でも投棄、放出してはならない。

廃棄上の注意 原則として廃棄物は焼却または埋め立てによって処理する。焼却するときは、焼却設備を用いて大気汚染防止法に適合した処理を施し焼却する。
埋め立てるときは、「廃棄物の処理および清掃に関する法律」に従って処理する。

輸送上の注意 (1) 梱包装が破れないように、水漏れや乱暴な取り扱いを避ける。特に、角の傷付けには注意する。
(2) 直射日光や風雨にさらされないようにカバーをする。
(3) シート片、切り粉等を空気輸送する場合は、輸送速度を低くしたり、確実な接地を行うなど静電気災害防止対策を確実にする。
(4) 火気厳禁

適用法令 消防法 指定可燃物 (合成樹脂類) (3000kg)

その他 引用文献 (1) 産業安全研究所安全資料 (SAFETY DOCUMENT OF RESEARCH INSTITUTE OF INDUSTRIAL SAFETY RIIS-SD-90-1, 1990) (労働省産業安全研究所)
(2) プラスチックス、Vol. 26, No. 3, P-20
(3) 発がん性物質の分類とその基準
(日本化学物質安全・情報センター、特別資料 No. 62)
(4) IARC MONOGRAPHS SUPPLEMENT NO. 7
Overall evaluation of carcinogenicity : An updating of IARC Monographs Volumes 1 to 42, 1987

記載内容の取り扱い

「知見なし」とは一般的には有害性はないと考えられますが、現時点ではデータ等を持ち合わせていないことを意味します。

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。新しい知見により改訂されることがあります。

また、注意事項は通常の手続きを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。